

2019年度 第2回理事会 議事録

【日時】2020年1月24日（金） 19:00～21:00

【会場】釧路市中国町24番10号杉元内科医院会議室

【出席者】（五十音順・敬称略）

理事長：杉元 重治

副理事長：竹田 匡 望月 誠

理事：稲荷 弥生 細川 克裕 宮前 彰彦 吉野 整子 米澤結実子

（計 9名）

監事：若杉 貴子（計1名）

【欠席者】（五十音順・敬称略）

理事：谷藤 公紀 浅野 洋郎 岡田 実継 金森 泰夫（4名）

監事：なし（0名）

議 事

1 定足数の確認

出席者10名により、理事総数の過半数（7名）を上回っていることを確認した。

2 議長選任

定款第35条にもとづき、杉元理事長が望月副理事長を指名し議長に就任した。

3 議事録署名人選任

定款第38条にもとづき、望月副理事長と杉元理事長を議事録署名人とした。

4 開会挨拶

杉元理事長から開会の挨拶があった。

5 協議事項

（1）2018年度事業報告について（資料1-1～1-4）

資料1-1～1-4に基づき竹田副理事長から説明を行い、協議を行う。出された意見としては、次のとおり。

- ・ 日々の実践を通して、医療・介護に関して地域住民への啓発が必要ではないか。
- ・ 日々の実践を通して、多職種連携だけでは対応の限界を感じる。行政、民間のすき間を埋めていく展開も必要ではないか。
- ・ TRUE COLORS 研修会をサロンで1回開催してはどうか。
- ・ 桑楡の刻の続編を開催してはどうか。
- ・ 昨年末の終活セミナーは、内容は良かった。アンケート結果をみると少し難しいようであった。演劇の方が理解しやすいのではないか。
- ・ 釧路市のつながり相談を受託できたら良いのではないか。
- ・ 日々の実践を通して、現場を埋めていくサービスが必要ではないか。

- ・ 一人暮らしの高齢者への対応が事後的になっている。早めの話し合いが必要。
- ・ 入院を契機として、生活課題が明らかになることがある。入院中の対応が困難。
- ・ 明らかになった地域の課題を細分化して対応していくのが良いのではないか。
- ・ 専門職の人材難でサービスの提供が困難である。
- ・ 終活セミナーを見逃してしまった人々への対応も必要ではないか。

以上の話し合いを踏まえ、次年度の事業計画の方針として決定し、事業計画に取り込むことを確認する。

- 地域住民への啓発として、①助成金を活用して桑楡の刻の続編を実施する。②釧路一受けたい授業を実施する。
- 専門職向けへの対応として、①釧路市からの委託を受託する（うち、1回は研修会として TRUE COLORS 研修会を開催するとともに、サロンを冬季前に開催する）。
- 釧路市在宅医療・介護連携推進事業（つながり相談）の受託に向け、釧路市に対して、本会として要望等の活動を行う。
- すき間の地域課題のニーズを明らかにする調査を実施する。得られた結果については、関係機関と共有するなどする。

(2) 地域住民向け研修会の開催について（資料2）

資料2に基づき竹田副理事長から説明を行い、当法人の事業としての位置づけを決定する。

(3) 釧路一受けたい授業の開催について（資料3）

資料3に基づき竹田副理事長から説明を行い、今年度実施できなかった分を含めて、次年度の事業として実施する。

(4) 役員改選について（資料4）

資料4-1～4-2に基づき竹田副理事長から説明を行い、規定に従い選挙の事務を進めることを確認する。

6 報告事項

(1) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団助成事業の実施状況について

資料5-1～5-2に基づき竹田副理事長から説明を行う。

(2) キリン地域の力応援事業の実施状況について

資料6-1・6-2-1～3に基づき竹田副理事長から説明を行う。

(3) 釧路市との委託契約締結及びサロン・研修会の実施状況について

資料7に基づき竹田副理事長から説明を行う。

(4) 会員の入退会について

口頭にて竹田副理事長から説明を行う。

7 閉会

(1) 次回 3月 9日 19:00～

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年1月27日

議事録署名人 議長（副理事長）望月 誠
議事録署名人 理事長 杉元 重治

